

タラハシーにおける在外公館長表彰式の開催

去る6月24日、フロリダ州北部の州都タラハシーにてルーシー・ホーさん、永島正俊さん、田中源蔵、美喜子さんご夫妻への長嶋総領事による在外公館長表彰式を行いました。受賞された皆様のご功績を紹介いたします。

フロリダ州立大学オペラ・演劇学部のドレスメーカーであるルーシー・ホーさんは、1970年に同地でレストランを開業され、長年に渡り、売り上げの一部を地元社会や同地日本人コミュニティに寄付されてきました。

また、台湾ご出身で日本語に堪能なホーさんは、同大学の日本人留学生の相談に乗ったり、食事を提供するなど、長年に渡り留学生に寄り添い支援して来られました。

更に、当館の活動に対しても理解と協力を惜しまず、10年以上に渡り同レストランを当館の領事出張サービス会場として無償提供し、旅券の交付など滞在邦人への便宜に力を貸して頂いております。

また、同じく台湾ご出身で夫君の故ジョン・ホーさんも日本語に堪能で、60年代にフロリダ州立大学に奉職してまもなく日本語講座開設に尽力され、開設後自らその講座において日本語を教えるなど同講座を支え続け、タラハシーにおける日本語、日本文化普及の礎を築かれました。同大学の日本語講座は現在も専攻課程として受け継がれており、また同大学は日本政府が主催してアメリカの青年を日本に招待し、日本各地の中学校、高等学校で英語を教えるJETプログラムにも参加者を輩出しています。

永島正俊さんは、1978年からタラハシーに在住され、アジア・レストランの経営に携わり、同地における日本人の草分け的存在として、在留邦人にとって頼れる存在として活躍されています。永島さんは当館の活動に対しても理解と協力を惜しまず、同地の「地方連絡員」として15年以上に渡り当館と在留邦人とのパイプ役として支援を頂いて来ています。



左がルーシー・ホーさん



左が永島正俊さん

また、州都タラハシーで日本の魅力をアピールするため、「スプリングタイム・オブ・タラハシー・パレード」では、日本からの留学生等の参加を募り、はっぴ姿でご神輿を担ぐなど、地元での日本文化紹介に先頭に立って尽力されています。

また、タラハシーにはフロリダ州立大学を始めとする教育機関が多く日本からの留学生も在籍しており、永島さんは同大学が中心となる日本人留学生協会への支援・寄付もされて来ています。

田中源蔵さんは1977年に渡米後、米国内各地の研究所で勤務のあと、現在フロリダA&M大学付属研究所研究員として活躍されています。

田中美喜子さんは渡米後、2002年より現在に至るまでフロリダ州立大学にて茶道、生け花、着物、陶芸などの日本文化イベントを多数企画・運営され、また、希望者に対する日本語の指導も行うなど日本語教育、日本文化紹介にも多大な貢献をされています。



左から田中源蔵さん 美喜子さん

田中さんご夫妻は、2005年から10年以上に渡りタラハシーのアジア祭において折り紙、日本語、七夕飾り、生け花等の日本文化や日本舞踊、盆踊り、日本音楽演奏、長刀デモンストレーションといった日本芸能の紹介を企画、実施されている他、様々な日本文化紹介事業を展開して来られました。

さらに、2011年には東日本大震災の発生を受け、20数回に及ぶ募金活動を企画し、日本赤十字社を通じ寄付されたほか、追悼式典を実施されました。また、2012年には大震災1周年にあわせ、吉野桜11本をタラハシーの公園に植樹するなど、災害復興支援、日米関係強化に尽力して来られました。

当日は受賞された皆様とゆかりのあるタラハシー在住の方々とともに受賞をお祝いいたしました。

ルーシー・ホーさん、永島正俊さん、田中源蔵、美喜子さんご夫妻の今後のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

